

http://nakayashiki.net/ **がんばる日本! 負けなで東北!**



10月20日「將軍鷹狩り行列」照英さん演じた徳川家康の警固役で行列に参加



**なかやしき 27**  
**チャレンジ通信**

なかやしき 第一チャレンジ報告 討議資料

**睦月に思う**

平成26年も今日は13日。年末はいつものように、餅つきなどの行事を進め、元旦は朝5時から涉外活動。例年通りの慌ただしい一年が始まりました。皆様におかれましてもお変わりなく素晴らしい新年をお迎えのことと思います。

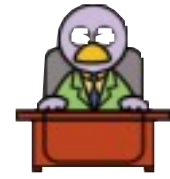
さて、今年「アベノミクス」の真価が問われる年です。労働者の賃金が上昇しないままインフレだけ加速し、消費税アップの冷え込みを短期間に抑えられなければ、再びの難局? かもしれません。そうならないように全ての力を結集して前に進まなければなりません。私も頑張ります。

**12月定例会**  
**主な内容**

12月定例会は20日、県立久喜図書館の耐震補強工事の設計費や8月の豪雨で土砂約4千立方メートルが崩落した有間ダム(飯能市)の土砂の撤去費用などを計上した一般会計補正予算案を含む36議案を可決し閉会した。

議案のうち条例関係では、がん対策を総合的、計画的に推進する「県がん対策基本条例案」や鶴ヶ島市から熊谷市に移転する「県農業大学校」の教育内容を充実するための条例の一部改正や和光市に養護老人ホームなどの設置認可を移譲したり、パスポートの発給事務を新たに7市町に移すため条例の一部を改めることになった。

がん対策条例は、群馬や長野ではすでに施行されていて、やや後れを取った感はあるが、病気になる死亡原因の第一位である「がん」対策は果敢に進めなければならぬ。



わが会派からは、舟橋一浩議員が質問に立ちました。

**なかやしきの 12月 注目質問**

Q 台湾とのさらなる連携について

**Q** 高い技術力やエンジニアの育成ノウハウを持つ日本企業と中華圏での豊富なビジネス経験を誇る台湾企業との間に成り立つであろう補完関係を活かすため、県が上海やアセアンの各国で実施している、現地支援体制を台湾でも検討する価値があると考えますか?

**「上田知事答弁要旨」**

**A** 現在、本県からも14社が台湾に進出している。県の現在の現地支援体制は、進出リスクの高い状況の低減を狙いとしている。台湾については、国際基準に沿った法制度を備えるなどリスクは低いと考えられる。当面は、支援体制整備よりビジネス交流拡大を考えたい。



発行者 刷新の会 鴻巣支部 県議会議員 中屋敷慎一 千365-0039 鴻巣市東3-11-18-103号 TEL 048-541-8110 FAX 048-541-0256

**視察報告**

「なかやしきの思い」 県議会日台友好議員連盟が設立されてちょうど一年が過ぎた。私もメンバーの一人だが、目黒の台北代表処を訪ねた時も大変な歓迎を受けた。鴻巣ロータリークラブの皆さんも、台南のクラブと友好関係を結ばれているようだ。民間の交流から行政間交流へとその関係を拡充していきたい。

平成25年10月28～29日 議会運営委員会視察

初日は、群馬県議会、ニューイヤー駅伝のゴール地点、群馬県庁の隣に真新しい議会棟がありました。

左上の写真は、議会棟の入り口の様子。大分お金がかかっただろうと思わせる豪華さ、驚きました。下の写真は、二日目の長野県議会議事堂の傍聴席。丁度、小学生の社会科見学の子供達が来ていました。今回、両県とも「がん対策条例」をすでに備えているとの事、本県も条例化を急がねばと思えました。



平成25年11月21日 環境農林委員会視察

平成27年4月開校を目指す熊谷市の農林総合センターの隣地で移転整備が進められている、埼玉県農業大学校建設現場を視察した。今議会でも、教育課程の見直し充実に向けた条例改正も行われたが、現地での開校に向けた動きも急ピッチで進められている。写真は、講堂の入り口から撮ったもの。使用木材の内97%を県産木材の利用とした校舎は、「木の温もり」を感じる素晴らしい出来栄だった。ここで、多くの本県農業を支える人材を育成してもらいたい。



**10月23日 上口知事 「とことん訪問」**

株式会社 アサヒコミュニケーションズ(鴻巣市)

100年以上の総合印刷業を通じて培った「伝えるための技術」をベースに、広告戦略を含めた企画・デザイン・Webプロモーションなどのメディアサービスを多面的に展開しています。

地域密着型企業を標榜し、県内の地域ポータルサイトの先駆けとして、「デンリュウサイタマ」を運営し、県内地域のイベント等を情報発信することで、地域活性化に取り組んでいます。

従業員のライフステージに合わせた柔軟な働き方ができるように、3歳未満の子を養育する従業員の短時間勤務制度や時間外労働を免除するなど様々な支援制度を導入し、ウーマノミクスに積極的に取り組んでいます。

知事は、印刷工程などを視察した後、会社の代表者や従業員と意見交換を行いました。



11月4日

第5回上田政治塾 於:パレスホテル大宮

講師に、上田知事のほか、評論家の副島隆彦氏、幼児教育が専門で県教育委員も務める吉田敬岳氏、評論家の有馬晴海氏を迎えて開かれた「上田政治塾」に参加した。副島氏はアメリカの情勢からみる今年の我が国を語っていたが、中で気になったのは、「来年の一月から株価の暴落が始まる」との予言。FRBの動きにはアンテナを高くしていなければならない。我が国でも、アベノミクスの肝である成長戦略が実効をあげて賃金が上昇して行かないと、消費税増税による負担増は深刻な状況を迎えるだろう。



11月20日

日本会議経済人同志会公開セミナー 於:明治記念館

下村大臣から2020東京オリンピック招致に向けた動きの中で、高円宮妃久子殿下に100総会でスピーチしていただくまでの秘話や、文部科学大臣として取り組む38の教育改革プランなどについてお聞かせいただいた。また、本県でも問題になった教科書採択の前段階である国の教科書検定においては、新教育基本法に則った教科書以外は、検定を通さない旨お話しいただいた。

これは、今後の歴史教科書などの採択に大きな影響を与えてくれるものだと思う。一歩前進。



11月26日 会派視察

海上自衛隊第2術科学校 海上自衛隊潜水医学実験隊

横須賀にある海上自衛隊第2術科学校と海上自衛隊潜水医学実験隊を視察した。前日の防衛大学の視察は議会運営委員会が開かれたため残念ながら欠席。術科学校とは、海上自衛隊の各種専門教育を行う学校で、第2術科学校は、機関、情報、外国語の教育訓練を行う。当日は、機関に関する実習などを見せていただいたが、学生たちはとてもきびきびとしていて、さすが自衛隊だなと感じた。こうした教育から「我が国の防人」としての資質が磨かれて行くのだと思う。潜水医学実験隊では、潜水医学及び飽和潜水に関する教育訓練が行われている。現地説明では、飽和潜水によれば水深400mでも人間が作業が出来るとの事。なかなか理解しきれなかったが、人間ってすごい。



山本五十六元帥揮毫



高気圧酸素治療装置

11月30日 埼玉県立がんセンター

新病院 完成記念式典・内覧会

県立がんセンター新病院の完成記念式典・内覧会に参加した。急ピッチで進められていた建設工事も順調に終わり、地上11階・地下1階の免震構造の新病院が完成した。「森の中にある人にやさしい高度医療機関をめざして」をコンセプトとしている新病院、1階の広々としたホスピタルストリートはその象徴的な佇まいだ。

また、治療面においても、手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入し手術のクオリティを高めたり、病棟部に集中して放射線治療を施せる治療装置を導入するなどの工夫もされている。そして、緩和ケア病床も36床と倍増して患者と家族の大切な時間を作りだそうとしている。平成25年には、36万人が「がん」によって亡くなったそうだ。県立がんセンター新病院が、患者さんの拠り所となるよう心から期待する。



「ダ・ヴィンチ」



ホスピタルストリート



定位放射線治療装置

12月3日

冬季品評会 於:鴻巣フラワーセンター

冬季品評会に審査員として参加した。私の審査部門は、鉢花・苗物・観葉植物の部。左のポインセチアは、埼玉県知事賞そして、中央の市の花パンジーは、鴻巣市長賞。クリスマスから新年に向けてそれぞれの家を彩ってくれたことだろう。さすがに品評会に出品される品物だけあってどれも大変素晴らしかった。

P.S. 自分の審査部門ではなかったけれども、絨毯のようなシクラメンの並びも圧巻でしたよ。



埼玉県知事賞



鴻巣市長賞



~ 工事進捗状況のお知らせ ~ No.7

鴻巣川島線追分交差点整備事業完成間近



2014/1/14

吹上地域から鴻巣地域方面へ



2014/1/14

北鴻巣駅西口方面から小谷方面へ



2014/1/14

旧中山道吹上方面へ 北鴻巣駅西口方面へ

通信25号で着手のお知らせをした追分交差点整備事業が完成間近を迎えている。既に小谷方面からも信号に従い交差点に進入するようになってきている。私も何度か通ってみたが、やっぱり安心ですね。

埼玉県議会 刷新の会 鴻巣支部  
中屋敷慎一事務所  
〒365-0039  
鴻巣市東3-11-18-103号  
電話 048-541-8110  
FAX 048-541-0256  
E-mail  
challenge@nakayashiki.net  
県議会へのご質問、ご意見、ご要望 承っております。

編集後記

また、新たな年が始まりました。それにしても今年の冬は冬の寒い寒さですね。

さて、「午」年はその文字の起源から、相反する二つの勢力の間に衝突が起こり、運命が一変する可能性をはらんだ年と考えられるらしいです。一変する運命をより良い方向へと向けられるように今年も頑張りますよ~。 慎一